

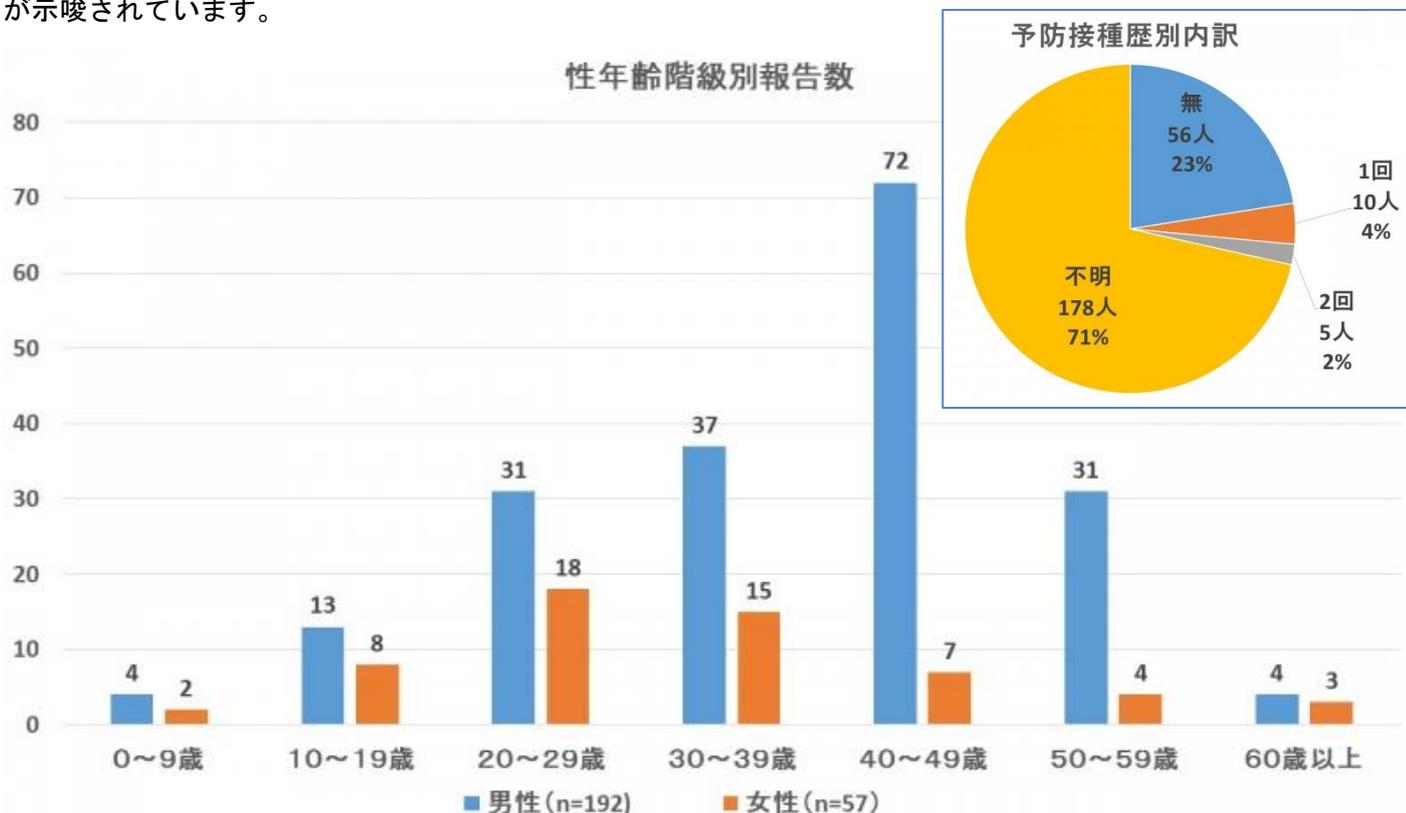


風疹急増に関する緊急情報

国立感染症研究所は先月末、今年の風疹患者の累計数が2004人になったと発表しました。また、妊婦から感染した先天性風疹症候群の患者（3例）も5年ぶりに報告され、厚生労働省は予防のためのワクチン接種を呼びかけています。

風疹の流行は昨年夏から始まり、昨年は2917人の報告がありました。今年に入り流行地域は縮小しつつありますが、患者数はなお増え続けています。地域別では東京都が最も多く、次いで神奈川県、千葉県、埼玉県と首都圏に集中していますが、福岡県は全国8位でまだ注意が必要です。

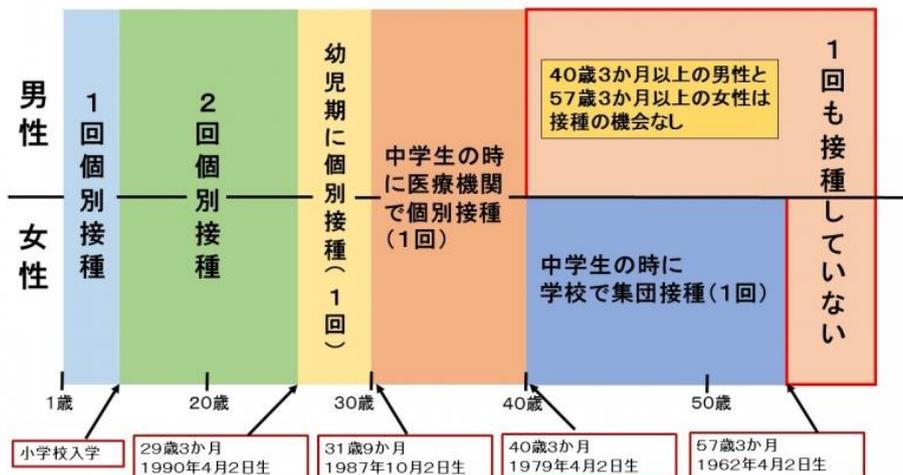
県内における発生状況は7月14日現在249人で、男性が192人、女性が57人となっています。年齢階級別に見ると、40～49歳の男性が最も多く、30～40代の男性で全体の60%を占めています。予防接種歴は「なし」あるいは不明が9割以上を占めていて、風疹ウイルスの抗体を保有していない集団の感染が示唆されています。



「風疹に関する特定感染症予防指針（厚生労働省告示第百二十二号）」では「早期に先天性風疹症候群の発生をなくすとともに、令和2年度までに風疹の排除を達成すること」を目標としています。現在の風疹の感染拡大を防止するためには、30～50代男性に多い感受性者を早急に減少させる必要があります。このため厚生労働省は2019～2021年度末の約3年間にかけて、これまで風疹の予防接種を受ける機会がなかった1962（昭和37）年4月2日～1979（昭和54）年4月1日生まれの男性を対象に風疹の抗体検査を実施した上で、定期接種（A類）を行うことを発表しました。

風疹のワクチン接種状況は生まれた年によって異なり、過去に風疹にかかったことがあると考えている人のなかには、実際にかかったのは麻疹などの別の病気だったということもあります。また、感染しても症状が出ない場合が15～30%程度あると言われおり、自分の抗体価を正しく知ることが重要です。風疹にかかったかどうかや、ワクチンを受けたことがあるか曖昧な場合は、まず風疹抗体検査で抗体価をご確認いただきますようよろしくお願いいたします。（抗体検査で免疫が十分でないと判断された場合、ワクチン接種の対象となります。）

風しん含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係（令和元年7月1日時点）



参考文献；国立感染症研究所ホームページ 福岡県庁ホームページ

当検査センターでは2019年3月1日より福岡市『風しん抗体検査』、2019年5月1日よりクーポン券による『風しん抗体検査』の検査受託を開始しています。

検査項目	福岡市 風しん抗体検査		クーポン券 風しん抗体検査
	セット番号	セット名	項目コード
風疹抗体 (HI)	S120	市風疹健診 (HI)	4022
風疹抗体 IgG (EIA)	S121	市風疹健診 (EIA)	4157
風疹抗体 IgG 健診 CLEIA)	S122	市風疹健診 (CLEIA)	4227

※福岡市風しん抗体検査詳細は「INFORMATION No. 30046」「INFORMATION No. 2019.14」をご参照下さい



福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 1 目 6 番 9 号

TEL 092-852-1506 (代) FAX 092-852-1510